

ぐるり30

～自治調査会だより～

2014
7

NO. 010

[発行日]
2014.7.1



[写真提供] 小笠原村 [撮影場所] 小笠原村 ジョンビーチ付近の海

- | | | | |
|------------------------------------|---|---------------------------|---|
| ▶ 調査研究結果発表シンポジウムのお知らせ…………… | 2 | ▶ 表紙写真募集のお知らせ…………… | 7 |
| ▶ 平成 25 年度 調査研究報告書の紹介…………… | 3 | ▶ 編集後記…………… | 7 |
| ▶ 東京愛らんどフェア「島じまん2014」が開催されました…………… | 4 | ▶ とっておき特産物 第38回 奥多摩町…………… | 8 |
| ▶ 多摩交流センターだより | | | |
| ・多摩発・遠隔生涯学習講座…………… | 5 | | |
| ・東京雑学大学講義案内…………… | 5 | | |
| ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介…………… | 6 | | |
| 男声合唱団シリウス 第7回定期演奏会 | | | |
| 第7回 西東京音楽祭 in 東久留米 | | | |

Contents

7月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

調査研究結果発表シンポジウムのお知らせ

平成26年度(公財)東京市町村自治調査会 調査研究結果発表シンポジウム

多摩地域の 空き家を考える

～空き家って?どうなる?どうする?～



当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。このシンポジウムでは、昨年度行った「自治体の空き家対策に関する調査研究」の成果を踏まえながら、予想される多摩地域の「空き家問題」に対して行政をはじめ、住民や民間団体でどのように連携して取り組んでいくべきか考えたいと思います。

開催について、6月号でも予告しておりましたが、詳細が決まりましたので、お知らせするとともに、ご参加を希望される方を募集いたします。ご参加希望の方は、下記の要領によりお申し込みください。

日時：平成26年7月24日(木) 13:30～16:30(12:30～受付) 会場：府中グリーンプラザ(けやきホール)

当日プログラム

- はじめに
「外部不経済を生む空き家」と「空き家発生メカニズム」
 豊田充 (株) 浜銀総合研究所 地域戦略研究部 副主任研究員
- 基調講演
行政による空き家対策の最前線
 北村喜宣 上智大学法科大学院長
- 調査研究結果発表
**多摩地域における総合的な空き家対策
 ～予防・応急・活用の視点から～**
 古川拓朗 (公財) 東京市町村自治調査会 調査部研究員
- パネルディスカッション
みんなで取り組む「地域の空き家」
 北村喜宣 上智大学法科大学院長
 上田真一 NPO 法人 空家・空地管理センター事務局長
 斉藤道生 (一社) 移住・住みかえ支援機構 専務業務役員 副代表理事
 宮木高一 八王子市 生活安全部 防犯課長

会場案内

府中グリーンプラザ(けやきホール)

〒183-0055 東京都府中市府中町 1-1-1
 TEL: 042-360-3311 (代表)

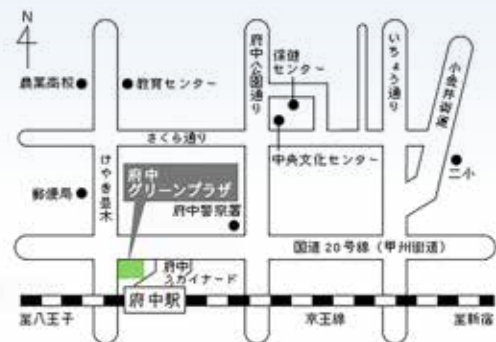
■ 京王線利用の場合

府中駅下車徒歩 1 分
 新宿から約 25 分

■ JR 中央線利用の場合

武蔵小金井駅南口または国分寺駅南口から府中駅行きバス
 終点下車徒歩 1 分

【ご注意】当施設には駐車場がありません。
 公共交通機関をご利用ください。



- 下記の参加申込書の内容をFAX、またはハガキでお送りください。また、下記ホームページからもお申込みいただけます。(申込多数時抽選) URL:http://www.tobuttravel.co.jp/fixed_page/vacant_house **締め切り(必着):平成26年7月11日(金)**

参加者1	お名前:	TEL:
	ご住所:	E-mail:
参加者2	お名前:	TEL:
	ご住所:	E-mail:

【ハガキの場合の送付先】

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB1 私書箱4054 調査研究結果発表シンポジウム事務局宛

【FAXの場合の送付先】03-3349-8745

- 多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自治体研修担当者を通じてお申し込みください。 ● 当選のお知らせは参加証の発送をもって代えさせていただきます。(7月18日(金)までに発送予定) ● **当日受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場いただきます。**

お申込みに関するお問い合わせ先/調査研究結果発表シンポジウム事務局 TEL:03-6844-6590(平日10:00～18:00)

平成25年度 調査研究報告書の紹介

「ぐるり39」の本年5月号で概要を紹介した平成25年度の調査研究報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今月号では、前頁に掲載した「調査研究結果発表シンポジウム」のテーマとしている、「自治体の空き家対策に関する調査研究報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードできます。

<自治体の空き家対策に関する調査研究>

1.背景・目的

少子高齢化が進展する中で、全国の総住宅数に占める空き家の割合は平成20年時点で13.1%に上り（総務省「住宅・土地統計調査」）、多摩地域においても、多くの自治体で10%を超えています。ただし、そのうち一時居住用や販売用等を除いた空き家の割合は5%を下回る水準にとどまっており、多摩地域では、老朽危険空き家のような地域に迷惑をもたらす原因となるおそれのある空き家は、まだあまり多くないものと推測されます。しかし、多摩・島しょ地域の400万人以上という人口の大きさ故に、今後、人口減少に伴う空き家の急増が懸念されるところです。

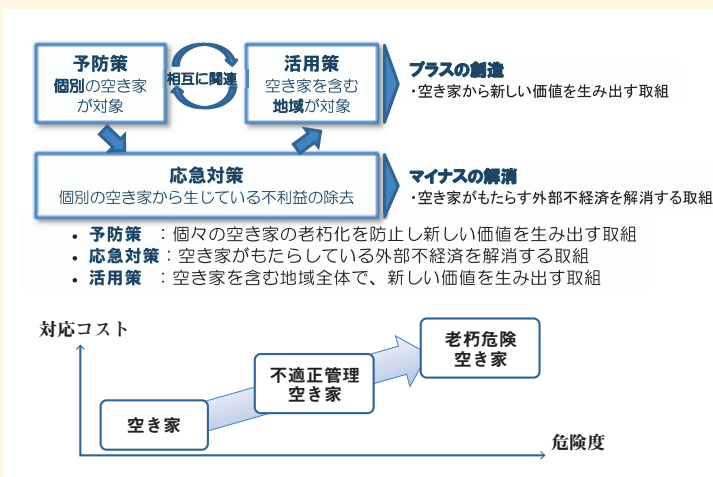
空き家の問題は、第一義的には個人財産の管理の問題ですが、長期間放置されることにより倒壊の危険性が高まるほか、ごみの不法投棄や放火の危険性等、空き家を取り巻く地域住民の生活を脅かす原因となるおそれがあります。

本調査研究は、東京都の多摩・島しょ地域自治体における空き家の発生状況や、空き家条例制定への取組等について確認した上で、空き家が地域にもたらす問題と対策の有効性を探り、空き家の発生抑制や活用の可能性を検討するために実施しました。



2.方向性・内容

これからの空き家対策を3つの視点から考えました。



空き家は、放置され老朽化が進むほど、除却に要するコストや所有者の探索の手間がかかってしまいます。限られた経営資源で最大の効果を生み出すには、問題が深刻化する前の早期対応、何よりも空き家問題を発生させないことが重要です。そのため3つの視点の中では、「予防策」が重要であると考えられます。

3.主な調査手法

- ①文献調査
- ②多摩・島しょ地域自治体へのアンケート・ヒアリング調査
- ③先進事例調査
- ④有識者ヒアリング調査

東京愛らんどフェア 島じまん 2014 が開催されました



5月24日(土)・25日(日)の2日間、「旨し! 楽し! 癒しのおもてなし。」をキャッチフレーズに、竹芝桟橋で『島じまん2014』が開催されました。

当日は、最寄り駅から会場までの道に『島じまん』来場の人々が行き交い、会場が近づけば舞台の太鼓の音が響いてきて、周辺のまちなかにも、この2年に一度の催しを楽しむ雰囲気があふれていました。

各島のブースには郷土料理や特産品を求める人々の行列ができ、昼過ぎには早くも「完売」の札が続出。工芸品の体験コーナーも親子連れで賑わいました。

中央の舞台では、宙^{そら}ガール・篠原ともえさん、東京海洋大学客員准教授『さかなくん』のステージが人気を呼び、また各島の太鼓や舞踊等の郷土芸能など様々な演目が披露され、大きな拍手を受けたり一緒に踊ったりと盛り上がっていました。



▲各島の郷土芸能などが披露された舞台

島それぞれのアピールポイントから出題されたクイズラリーでは、会場内9か所の立札をめぐってクイズを解き、全問正解者にはプレゼントが渡されました。



▲クイズラリーの正解は?

天候にもめぐまれ、約10万人が来場し、島の産業と文化の交流で賑わった2日間でした。



▲大勢の人で賑わう会場内

東京都の島しょ地域の自治体数は9町村、人が住んでいる島は11島です。東京から各島へのアクセスは、竹芝桟橋発の船便と羽田空港・調布飛行場発の航空便があります。この『島じまん』で披露されたそれぞれの島の魅力をもっと味わうために、東京の島へ行ってみませんか。

「東京島しょ地域魅力紹介ハンドブック」の発行

当調査会では東京の島しょ地域の魅力を紹介した情報誌『東京島しょ地域魅力紹介ハンドブック』を作成しました。これは、皆様に多くの島しょ地域の魅力をより知っていただくとともに、来訪のきっかけにさせていただきたいと考え作成したものです。

このハンドブックは、多摩交流センターで無償配布しているほか、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)でご覧いただけます。ご活用いただき、東京の島々をめぐってみてはいかがでしょうか。

【訂正のお知らせ】以下の箇所の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

[61ページ] 八丈島 島の概要 アクセス 空路(誤)約55時間→(正)約55分





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



7月・8月予定の講座案内

125回

日時 平成26年7月10日(木) 14:30から約1時間
題名 武蔵野の雑木林を今に活かす
講師 椎名 豊勝 氏
 ((一社)日本樹木医会副会長・東京都支部長、
 昭島市環境審議会会長、小平市緑化推進委員会
 委員長)
内容 京に聞こえた荒蕪たる原野としての武蔵野・徳川
 家康の入城・玉川上水の完成・吉宗一大岡越前
 一川崎平右衛門の新田開発・開拓農民の生活と
 雑木林・国木田独歩による雑木林の美の発見
 ・雑木林が抱える課題とは・生物多様性の雑木
 林・雑木林の魅力とは・今に活かす雑木林

126回

日時 平成26年8月14日(木) 14:30から約1時間
題名 Tamajin とTAMA市民塾と知縁コミュニティ
講師 横田 至明 氏 (TAMA市民塾塾長)
内容 TAMA市民塾は of the Tamajin , by the
 Tamajin , for the Tamajin (タマジンの、タマジ
 ンによる、タマジンのための) 塾です。では、タマジ
 ンとはいったい何か? また、知を縁にして新し
 いコミュニティを次々と生み出すTAMA市民塾の
 メカニズムとは? について明らかにします。

- 受講料 無料(ただし資料代100円) ○サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- 講座場所 多摩交流センター 第2会議室(申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください)
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 080-3427-9848(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

8月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は8月14日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第951回	8月3日(日) 14:00から	共同講義“地震と建築”	棚橋 廣夫 氏(建築家) 徐 光 氏(構造家)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第952回	8月7日(木) 14:00から	ポツダム宣言と多摩送信所	間宮 章 氏 (元放送プロデューサー・ 八王子生涯学習コーディネーター会名誉会長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第953回	8月14日(木) 14:30から	TamajinとTAMA市民塾と 知縁コミュニティ	横田 至明 氏 (TAMA市民塾塾長)	遠隔視聴(サテライト)会場 ※武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第954回	8月28日(木) 14:00から	江戸時代の遺訓・家訓・辞世	深谷 克己 氏 (早稲田大学名誉教授)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※お知らせ:7月31日に予定していた「英語面白雑学講座」(井土 一雄 講師)は、都合により開講しません。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

男声合唱団シリウス 第7回定期演奏会

- 日時** 平成26年7月26日(土)
開場13:30 開演14:00(約2時間)
- 場所** 八王子市芸術文化会館(いちょうホール)
JR八王子駅北口から徒歩13分、路線バスあり
- 内容** 日野市、八王子市を中心に活動する合唱団で、結成以来今年で20年。歌詞に秘められた意味を味わい、楽譜にひそむ深い感性と理論に触れ、声を出して身体の震えを感じつつ、仲間と共にハーモニーを作り上げる活動は、何物にも代えがたい精神的な高揚感につながります。そして日頃の精進の成果を皆様に聴いていただける喜びは、演奏会の回を重ねるごとに大きくなって行きます。賛助出演のライラック女声コーラス、女声コーラスコール・結の皆さんと一緒に、お客様にご満足いただけるように一生懸命歌います。

入場料 無料

【主催】 男声合唱団シリウス

【問合せ】 立岩 洋三

電話/Fax 042-626-7187

E-mail zvu07041@nifty.ne.jp

ホームページ <http://gasshoudansirius.jimdo.com/>



第7回 西東京音楽祭 in 東久留米

- 日時** 平成26年8月2日(土)
開場12:30 開演13:00(終演予定20:00)
- 場所** 成美教育文化会館グリーンホール
(東久留米駅北口から徒歩5分)
- 内容** 多摩地域ゆかりの音楽愛好家が年齢やジャンルの壁を乗り越えて集結。年齢・性別・プロアマ問わず、普段はありえない組み合わせが実現してしまう手作り音楽祭。ロック、ジャズ、フォーク、吹奏楽、コーラス、オヤジバンド、ワールドミュージック、クラシック、ジャンルの幅広さは日本一という異色イベント。みんな集まれ〜♪

入場料 500円(当日券あり)

【主催】 西東京音楽祭実行委員会

【問合せ】 080-6597-2410(老後悔いなし西東京/担当木村)

e-mail: onsenmura@jcom.home.ne.jp

HP: <http://nishitokyoongakusai.jimdo.com/>



「多摩交流センターだより」の問合せ先

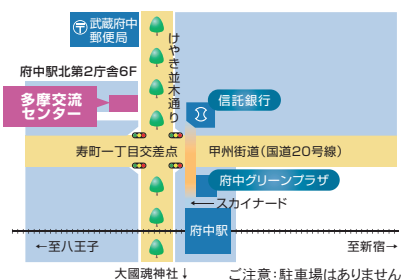
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127 Eメール tama001@tama-100.or.jp

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(自治調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



今年のサマーは**6億円!!**
でっかい夏をまるかしり!

サマージャンポミニ**6000万**
 6000万円×90本(発売総額270億円・9ユニットの場合)

サマージャンポ**6億円**
 1等前後賞合わせて6億円
 1等4億円、前後賞各1億円

7月4日(金)
同時発売

発売期間 7月4日(金)～7月25日(金)
 抽せん日 8月5日(火)

2014年市町村振興宝くじ
 公益財団法人 東京都区市町村振興協会

この宝くじの収益金は区市町村の明るく
 住みよいまちづくりに使われます。




表紙写真募集のお知らせ



あなたの好きな多摩・島しょ地域の風景で「ぐるり39～自治調査会だより～」の表紙を飾りませんか?
 「私の好きな多摩・島しょの風景、催事、街」をテーマに、多摩・島しょ地域の魅力あふれる自然や
 伝統あるお祭り、伝えていきたい街並みなどを撮影した写真をお寄せください。
 ご応募いただいた作品の中から、表紙写真として掲載させていただきます。

詳細については、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp>)または、多摩交流センター窓口で配布している
 『ぐるり39～自治調査会だより～』表紙写真応募要領』でご確認ください。ご応募お待ちしております。



編集後記

- 先日、東京港区の竹芝桟橋で「東京愛らんどフェア 島じまん 2014」が開催され大盛況でした。当調査会は、島じまんへの支援を行っています。イベントの詳細は本文4ページの記事に譲り、ここでは多摩と島を結ぶ航空路の話をしたしたいと思います。
- 本冊子「ぐるり39」のうち「30」は多摩26市と西多摩郡4町村、それに島しょ地域「9」町村をあわせて「39」ですが、東京と島を結ぶ拠点のひとつとして多摩地域に「調布飛行場」があります。
- 島しょ地域の住民にとって、海が荒れ船便が欠航したときや急な用事、あるいは体に負担をかけたくないお年寄りなどが早く楽に利用できる定期航空路は、なくてはならない公共交通機関です。調布飛行場はその大切な生活路線を担っています。
- 以前は、有視界飛行方式で運用していたため視界の悪い時は欠航が多かった調布飛行場でしたが、地元のみなさんの理解と協力により、昨年6月に離島便に限って計器飛行方式が導入されてから欠航が大幅に減少し、安心して利用できるようになりました。
- また、今年の4月からは、これまでの大島、新島、神津島に加えて、3月末で廃止となった羽田からの空路に代わり三宅島へ一日3往復便の運航が始まりました。新中央航空が運航する調布からの小型機は小回りがきき横風にも強いので、ほとんど欠航しない(就航

率90%台)と評判になっています。

- 調布飛行場は、最近大きく変貌しています。昨年竣工した新ターミナルには展望デッキやユーティリティコーナーが設置され、休日には旅行者以外にも見学などの利用者が賑わいを見せています。(※7月5日・6日10:00～16:00島の物産展開催)また、この7月からは調布駅と飛行場を結ぶバスが大幅に増便されるため、アクセスが格段に良くなります。
- 伊豆諸島は、昨年災害に見舞われ、復興中で大変だろうと訪問を遠慮されている方もいらっしゃると思いますが、島への応援の気持ちを込めて夏休み旅行などで訪れてみてはいかがでしょうか?

(M・N)



調布ターミナルビルとドルニエ228型機

新中央航空(定員19人)

大島便	3往復/日	25分
新島便	4往復/日	40分
神津島便	3往復/日	45分
三宅島便	3往復/日	50分

とっておき特産物

第38回 奥多摩町

奥多摩ワサビ

奥深い山間の清らかな清流で育つ奥多摩ワサビは、古くは将軍家献上の記録もある奥多摩を代表する特産品の一つで、これまで多くの匠の技により守り育てられて参りました。

奥多摩ワサビは高級食材の葉味としてご利用いただく他、ワサビ漬を始めとする様々な加工食品として、町の各所で販売され、多くの観光客の皆様へ愛されています。



奥多摩やまめ

「奥多摩やまめ」は、平成10年に東京都水産試験場奥多摩分場(現在の奥多摩さかな養殖センター)で開発され、刺身や寿司、ムニエル、フライなど幅広い料理で頂くことができる山女魚で、奥多摩町の旅館や飲食店でご賞味いただけます。

また、お土産用として販売される燻製は脂ののった柔らかな身に、ほんのりと桜木の香りが漂う極上の一品として、大変人気があります。

記事、写真提供：奥多摩町観光産業課
☎ 0428-83-2295

【発行日】平成26年7月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】石井恒利
〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>